



## 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社

コード番号 2702 URL <http://www.mcd-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名) サラ L. カサノバ

問合せ先責任者 (役職名) IR統括責任者 (氏名) 中澤 啓二

TEL 03-6911-6000

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	52,199	27.7	151	—	△126	—	△176	—
27年12月期第1四半期	40,874	△34.4	△9,962	—	△11,124	—	△14,594	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △213百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 △14,642百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△1.33	—
27年12月期第1四半期	△109.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	172,172	104,651	60.7
27年12月期	178,868	108,853	60.8

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 104,463百万円 27年12月期 108,666百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	104,000	21.9	△1,800	—	△2,500	—	△1,800	—	△13.54
通期	220,000	16.1	3,300	—	2,200	—	1,000	—	7.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	132,960,000 株	27年12月期	132,960,000 株
28年12月期1Q	869 株	27年12月期	869 株
28年12月期1Q	132,959,131 株	27年12月期1Q	132,959,786 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は、終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(経営成績に関する定性的情報)

当第1四半期連結累計期間は、既存店売上高が2四半期連続で対前年比プラスとなる26.9%の増加となり、システムワイドセールスは1,021億28百万円(対前年同期比190億98百万円増加)、売上高は521億99百万円(対前年同期比113億24百万円増加)となりました。経常損失は、売上高の回復や店舗収益性の改善等により1億26百万円(対前年同期比109億97百万円減少)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億76百万円(対前年同期比144億17百万円減少)となりました。

(注) 1. 既存店売上高とは、少なくとも13ヶ月以上開店している店舗の合計売上高です。

2. システムワイドセールスとは、直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高であり、連結損益計算書に記載されている売上高と一致しません。

3. 当社グループの事業はハンバーガーレストラン事業単一であるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(事業戦略に関する定性的情報)

当第1四半期連結累計期間は、中長期の成長に向けて昨年4月に策定した4つの柱(「よりお客様にフォーカスしたアクション」「店舗投資の加速」「地域に特化したビジネスモデル」「コストと資源効率の最適化」)からなるビジネスリカバリープランに沿って、以下の取り組みを実施いたしました。

<よりお客様にフォーカスしたアクション>

・「おてごろマック」への新商品の投入:

200円のバーガーメニュー、150円のサイドメニュー、100円のデザート・ドリンクメニューをお楽しみいただける「おてごろマック」に、新しく「チキンチーズバーガー(チキチー)」をレギュラーメニューとして追加しました。また、期間限定のサイドメニューとして、1月には「クリームシチューパイ(シチューパイ)」、3月には「シャカチキ アメリカンバーベキュー」を販売しました。

・新しいわくわくする期間限定商品の販売:

1月には「マックチョコポテト」を販売し、新鮮で驚きのある組合せが大変ご好評いただきました。2月には、日本マクドナルド株式会社で初めて正式名称を公募し決定した「北のいいとこ牛(ぎゅ)っとバーガー」を販売し、500万件を超えるご応募をいただきお客様にお楽しみいただきました。3月には、発売以来20年となった人気メニュー「てりたま」シリーズに新メニュー「カマンベールてりたま」を加え販売しました。

・新ブランド「By McSWEETS」の展開:

幅広い世代のお客様に、“いつでも気軽に楽しめるスイーツ”を提案する新しいスイーツブランド「By McSWEETS」を立ち上げました。第1弾として、2月に国産はちみつと瀬戸内レモンの果汁を使用した「マックシェイクはちみつレモン」、第2弾として、3月に北海道ミルクを使用した「北海道ミルクパイ」、北海道あずきと宇治抹茶を使用した「マックフルーリー 宇治抹茶&あずき」を期間限定で販売しました。

<店舗投資の加速>

最高の店舗体験と目に見える変化を一人でも多くのお客様に感じていただくために、平成30年度末までに90%以上の店舗をモダン化する計画を進めており、既存店舗の改装にリソースを優先的に振り向けております。当第1四半期連結累計期間は、フードコートやモールにある店舗を含めて72店舗の改装と1店舗のリビルドを実施しました。ご注文と受け渡し場所を分けお客様へのサービスを強化するデュアルポイントサービスは、当第1四半期連結累計期間末で234店舗への導入を完了しました。

区分	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	区分移行		当第1四半期 連結会計期間末
				増加	減少	
直営店舗数	954店	1店	△13店	4店	0店	946店
フランチャイズ店舗数	2,002店	1店	△21店	0店	△4店	1,978店
合計店舗数	2,956店	2店	△34店	4店	△4店	2,924店

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間の流動資産は282億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ62億40百万円の減少となりました。これは、現金及び預金が48億58百万円、その他流動資産が12億94百万円減少したことが主な要因です。

固定資産は1,438億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億55百万円の減少となりました。これは、建物及び構築物を取得したこと等により有形固定資産が18億13百万円増加、敷金及び保証金の回収等により投資その他の資産が21億5百万円減少したことが主な要因です。

流動負債は279億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ135億29百万円の減少となりました。これは短期借入金50億円、未払金が69億32百万円、戦略的閉店に対する店舗閉鎖損失引当金が6億51百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は395億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ110億35百万円の増加となりました。これは銀行借入れにより長期借入金が113億75百万円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の通期の業績予想につきましては、平成28年2月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

なお、平成28年4月に発生しました「熊本地震」による業績への影響は、現在調査中ではありますが、現時点において認識している限り、重大な影響は発生しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,388	15,529
売掛金	8,119	7,970
原材料及び貯蔵品	862	924
繰延税金資産	478	478
その他	4,711	3,417
貸倒引当金	△35	△35
流動資産合計	34,524	28,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,481	47,019
機械及び装置(純額)	3,915	3,827
工具、器具及び備品(純額)	2,334	2,392
土地	17,325	17,325
リース資産(純額)	2,874	2,660
建設仮勘定	479	998
有形固定資産合計	72,410	74,224
無形固定資産		
のれん	1,195	1,154
ソフトウェア	6,760	6,637
その他	693	694
無形固定資産合計	8,650	8,486
投資その他の資産		
投資有価証券	56	56
長期貸付金	9	9
長期繰延営業債権	10,116	10,050
退職給付に係る資産	6,773	6,654
繰延税金資産	224	194
敷金及び保証金	41,457	39,533
その他	8,634	8,673
貸倒引当金	△3,988	△3,993
投資その他の資産合計	63,283	61,177
固定資産合計	144,344	143,888
資産合計	178,868	172,172

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	303	617
短期借入金	5,000	-
1年内返済予定の長期借入金	2,500	2,500
リース債務	1,428	1,410
未払金	20,843	13,911
未払費用	4,502	4,209
未払法人税等	11	35
賞与引当金	428	534
店舗閉鎖損失引当金	1,681	1,030
たな卸資産処分損失引当金	337	337
資産除去債務	453	123
その他	3,993	3,243
流動負債合計	41,485	27,955
固定負債		
長期借入金	18,125	29,500
リース債務	2,428	2,136
繰延税金負債	1,351	1,278
再評価に係る繰延税金負債	311	291
賞与引当金	293	328
役員賞与引当金	30	34
役員退職慰労引当金	54	60
退職給付に係る負債	1,474	1,479
資産除去債務	4,149	4,143
その他	312	312
固定負債合計	28,530	39,566
負債合計	70,015	67,521
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,113	24,113
資本剰余金	42,124	42,124
利益剰余金	44,955	40,790
自己株式	△1	△1
株主資本合計	111,191	107,026
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△4,261	△4,242
退職給付に係る調整累計額	1,736	1,678
その他の包括利益累計額合計	△2,525	△2,563
非支配株主持分	187	188
純資産合計	108,853	104,651
負債純資産合計	178,868	172,172

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	40,874	52,199
売上原価	44,581	46,537
売上総利益又は売上総損失(△)	△3,707	5,661
販売費及び一般管理費	6,254	5,509
営業利益又は営業損失(△)	△9,962	151
営業外収益		
受取利息	31	24
受取補償金	53	2
受取保険料	11	9
その他	26	110
営業外収益合計	123	146
営業外費用		
支払利息	24	65
貸倒引当金繰入額	639	59
店舗用固定資産除却損	234	175
賃貸借契約解約違約金	16	11
その他	369	114
営業外費用合計	1,285	425
経常損失(△)	△11,124	△126
特別損失		
固定資産売却損	-	10
固定資産除却損	32	39
減損損失	3,516	-
特別損失合計	3,549	50
税金等調整前四半期純損失(△)	△14,674	△177
法人税等	△81	△2
四半期純損失(△)	△14,592	△175
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,594	△176

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純損失(△)	△14,592	△175
その他の包括利益		
土地再評価差額金	37	19
退職給付に係る調整額	△87	△57
その他の包括利益合計	△50	△38
四半期包括利益	△14,642	△213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,644	△214
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、ハンバーガーレストラン事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。